学習プリント

# 地理「自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業」

年　　組　　番

名前

## 1．気候と広い土地を生かした畑作

(1)　畑作が盛んな十勝平野や北見盆地の場所を、図Ⅰに赤色で着色してみよう。

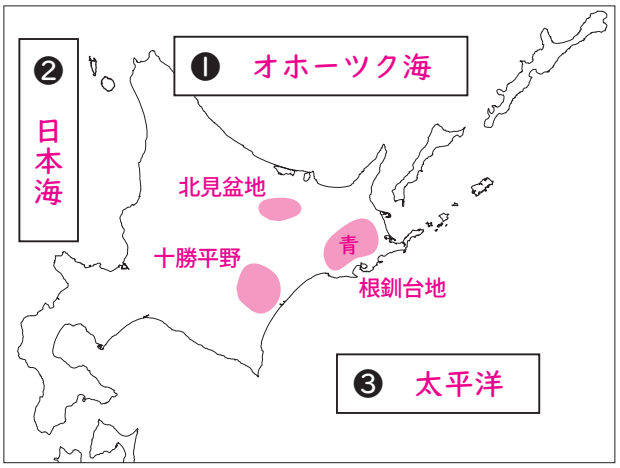
(2)　十勝平野で生産されている主な農産物を書き出してみよう。

（例）　じゃがいも、小麦、てんさい、豆類

(3)　(2)の作物以外で、北海道の生産量が全国で1位の農産物を調べてみよう。

（例）　たまねぎ、スイートコーン、にんじん、ブロッコリー、生乳　　など

図Ⅰ




(4)　十勝平野が日本有数の畑作地帯になった理由をまとめてみよう。

| 自然環境の側面から | 人々の工夫の側面から |
|---|---|
| （例）　・広大な火山灰が積もってできた平らな土地がある。<br>・気候が夏でも涼しい。 | （例）　・火山灰のやせた土地を、たい肥などを用いて豊かな土壌に変えていった。<br>・輪作を行う。<br>・大型の農業機械を使用して効率よく耕す。 |

## 2．寒冷な気候を生かして発展した酪農

(1)　根釧台地の場所を、図Ⅰに青色で着色してみよう。

(2)　根釧台地が日本有数の酪農地帯になった理由をまとめてみよう。

| 自然環境の側面から | 人々の工夫の側面から | 他地域との結び付きの側面から |
|---|---|---|
| （例）　夏でも濃霧の影響で気温が上がらず、稲作や畑作に適していないため、広大な土地が残されていた。 | （例）　大型の機械を使用して大規模化に取り組んだり、バターやチーズなどの乳製品を作ったりするようにした。 | （例）　輸送技術の向上により、牛乳を鮮度を保ったまま全国や海外に出荷できるようにした。 |

## 3．北海道を取り巻く豊かな漁場

(1)　図Ⅰの❶～❸に、北海道を取り巻く三つの海の名前を書いてみよう。

(2)　次の①～③にあてはまる語句を記入し、北海道の漁業の移り変わりについてまとめてみよう。

1970年代以前は、アラスカ沖などの遠い海でさけやすけとうだらなどをとる（①　北洋漁業　）が盛ん。

→

各国が排他的経済水域を設定し、沿岸漁業、沖合漁業へ

→

1970年代以降は、ほたて・昆布を育てる（②　養殖業　）や稚魚・稚貝を育てて海に戻す（③　栽培漁業　）が盛ん。

**本時のまとめ**　◆　北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由について説明しよう。

（例）　北海道では広い土地を生かし、機械を使用した大規模な農業ができたため、畑作や酪農が盛んになった。また、三つの海に囲まれて豊かな水産資源があるため、漁業も盛んになった。